



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月27日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行
 問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレート コミュニケーションセンタ長 (氏名) 加藤 淳 (TEL) 03-5533-7146
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	370,101	5.7	21,772	15.8	26,267	24.8	21,703	61.2
25年3月期第3四半期	350,003	△1.9	18,796	△3.1	21,043	2.3	13,460	26.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 32,538百万円(66.5%) 25年3月期第3四半期 19,541百万円(279.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	104.22	—
25年3月期第3四半期	64.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	507,533	332,910	64.3
25年3月期	477,880	313,404	64.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 326,472百万円 25年3月期 306,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	18.00	38.00
26年3月期	—	18.00	—		
26年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,000	6.5	28,000	18.9	31,500	15.2	23,000	22.2	110.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	208,364,913株	25年3月期	208,364,913株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	121,049株	25年3月期	117,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	208,245,742株	25年3月期3Q	208,248,363株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(四半期連結損益計算書)	P. 7
(四半期連結包括利益計算書)	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2013年4月1日から同年12月31日までの連結業績につきましては、売上高は3,701億1百万円(前年同期比5.7%増)となりました。機能材料セグメントにおいては、半導体用エポキシ封止材や半導体用ダイボンディング材料の新規採用が増加し、また、先端部品・システムセグメントにおいては、粉末冶金製品や車両用電池等が順調に推移しました。これらに加え為替の影響もあり、売上高は前年同期実績を上回りました。その結果、営業利益は217億72百万円(前年同期比15.8%増)、経常利益は262億67百万円(前年同期比24.8%増)、また、四半期純利益は、福島第一原子力発電所の事故による操業停止期間の逸失利益に対する東京電力(株)からの補償金を特別利益に計上したこともあり、217億3百万円(前年同期比61.2%増)となりいずれも前年同期実績を上回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の6.3%増に当たる1,982億54百万円となりました。

①電子材料

半導体用エポキシ封止材は、2012年10月1日付で日東電工(株)から同製品の事業を譲り受けたこと及び新規採用の増加により、前年同期実績を上回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、スマートフォン、タブレットPC向けの新規採用増により、前年同期実績を上回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、一部顧客における需要減の影響により、前年同期実績を下回りました。

電気絶縁用ワニスは、国内の住宅着工戸数の増加に伴う家電の需要増により、前年同期実績を上回りました。

②無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの売上が増加し、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、新興国向け自動車用ブラシの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

③樹脂材料

機能性樹脂は、塗料用樹脂が一部顧客の需要減の影響を受けたものの、為替の影響等により、前年同期実績並みとなりました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要減により、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、スマートフォン向けの売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

タッチパネル周辺材料は、一部顧客の需要減により、前年同期実績を下回りました。

④配線板材料

銅張積層板は、パソコン向けの需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

感光性フィルムは、スマートフォン、タブレットPC向けの売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の5.1%増に当たる1,718億47百万円となりました。

①自動車部品

樹脂成形品は、一部顧客の需要減により、前年同期実績を下回りました。

摩擦材は、海外子会社の売上が貢献したことなどにより、前年同期実績を上回りました。

粉末冶金製品は、北米での需要増により、前年同期実績を上回りました。

②蓄電デバイス・システム

車両用電池は、アイドリングストップ車等の環境対応自動車向けの増加やタイヤの製造拠点の本格稼働開始に伴い、前年同期実績を上回りました。

産業用電池・システムは、通信事業者向けの電源装置の売上が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

キャパシタは、風力・太陽光発電向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

③電子部品

配線板は、半導体検査装置関連の需要回復等により、前年同期実績を上回りました。

④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の国内向け売上の増加等により、前年同期実績を上回りました。

(2)財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から296億53百万円増加し5,075億33百万円となりました。主に関係会社預け金が増加し、流動資産が219億16百万円増加したことによるものです。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から101億47百万円増加し1,746億23百万円となりました。主に会計方針の変更により退職給付に係る負債が増加し、固定負債が73億91百万円増加したことによるものです。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から195億6百万円増加し3,329億10百万円となりました。主に利益剰余金が増加し、株主資本が132億59百万円増加したことによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、機能材料セグメントにおいてはタッチパネル周辺材料及び銅張積層板等の売上が、また先端部品・システムセグメントにおいては自動車部品のタイヤの製造拠点の売上が、それぞれ想定を下回る事等により、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益いずれも前回発表の業績予想を下回る見込みです。なお、当年度第4四半期において、配線板事業の体質強化を目的とした特別損失を計上する予定です。

[通期]

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	4,950億円	5,000億円	△50億円	△1.0%
営業利益	280億円	310億円	△30億円	△9.7%
経常利益	315億円	325億円	△10億円	△3.1%
当期純利益	230億円	245億円	△15億円	△6.1%

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に係る会計処理方法の変更)

当社及び連結子会社は、「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。)が2013年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用しております。これにより、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上しております。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。なお、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上したことに伴う影響額を退職給付に係る調整累計額に、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金にそれぞれ加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る調整累計額が4,410百万円減少し、利益剰余金が941百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,955	40,330
受取手形及び売掛金	105,134	111,807
有価証券	499	—
製品	20,163	22,990
仕掛品	12,006	13,146
原材料	15,090	16,870
関係会社預け金	37,317	45,733
その他	25,368	23,520
貸倒引当金	△791	△739
流動資産合計	251,741	273,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,116	58,510
機械装置及び運搬具(純額)	56,020	68,325
土地	20,165	21,574
その他(純額)	35,719	25,633
有形固定資産合計	162,020	174,042
無形固定資産		
のれん	24,398	21,978
その他	6,080	5,984
無形固定資産合計	30,478	27,962
投資その他の資産		
投資有価証券	15,259	13,488
その他	19,208	19,136
貸倒引当金	△826	△752
投資その他の資産合計	33,641	31,872
固定資産合計	226,139	233,876
資産合計	477,880	507,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,612	50,624
短期借入金	20,387	25,010
未払法人税等	7,778	2,760
その他	36,813	37,952
流動負債合計	113,590	116,346
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	8,053	10,676
退職給付引当金	17,111	—
役員退職慰労引当金	510	443
退職給付に係る負債	—	21,453
その他	5,212	5,705
固定負債合計	50,886	58,277
負債合計	164,476	174,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	259,230	272,495
自己株式	△193	△199
株主資本合計	310,604	323,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,077	1,760
繰延ヘッジ損益	68	190
為替換算調整勘定	△4,770	5,018
退職給付に係る調整累計額	—	△4,359
その他の包括利益累計額合計	△3,625	2,609
少数株主持分	6,425	6,438
純資産合計	313,404	332,910
負債純資産合計	477,880	507,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
売上高	350,003	370,101
売上原価	268,190	279,290
売上総利益	81,813	90,811
販売費及び一般管理費	63,017	69,039
営業利益	18,796	21,772
営業外収益		
受取利息	277	262
受取配当金	176	203
持分法による投資利益	1,526	1,817
受取ロイヤリティー	1,180	1,364
為替差益	268	1,633
その他	2,517	2,592
営業外収益合計	5,944	7,871
営業外費用		
支払利息	762	1,079
固定資産処分損	752	599
その他	2,183	1,698
営業外費用合計	3,697	3,376
経常利益	21,043	26,267
特別利益		
受取補償金	1,899	4,932
特別利益合計	1,899	4,932
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	22,942	31,199
法人税等	9,035	9,427
少数株主損益調整前四半期純利益	13,907	21,772
少数株主利益	447	69
四半期純利益	13,460	21,703

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,907	21,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	683
繰延ヘッジ損益	511	122
為替換算調整勘定	5,111	9,296
退職給付に係る調整額	—	51
持分法適用会社に対する持分相当額	132	614
その他の包括利益合計	5,634	10,766
四半期包括利益	19,541	32,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,749	32,347
少数株主に係る四半期包括利益	792	191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外部顧客への 売 上 高	186,572	163,431	350,003	—	350,003
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,052	905	6,957	(6,957)	—
計	192,624	164,336	356,960	(6,957)	350,003
セグメント利益	17,420	1,419	18,839	(43)	18,796

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2013年4月1日至2013年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外部顧客への 売 上 高	198,254	171,847	370,101	—	370,101
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,768	1,350	9,118	(9,118)	—
計	206,022	173,197	379,219	(9,118)	370,101
セグメント利益	19,227	2,557	21,784	(12)	21,772

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。